

広域医療にしなれば

このままでは医師はこない

一池北三町公立病院の現状一

いずも同様に消されるか、赤字が解明されれば、これからの問題となります。

本別町の場合は、こんな老朽した建物のままでは医師をよこすわけにはいかならないと、大学当局の厳しい注文もあつて立派な病院を新築したものの、逆に医師はへらされて現在西根町三町の池北三町公立病院と高橋達次郎氏の内科二人となり、水元町長の熱意不足とばかりに五月に迫つた町長選での攻撃材料となり、各にかなない形勢です。しかし外科の方は見込みがついたものの、大学とは無関係な方面なので、一時しのぎで大学とのつなぎにヒビが入ることば長期的には町のマイナスイメージで、これは辛抱して大学からの配置を待つことにしています。

へき地をなぜきらうか

大都市の大病院で勤務する医師よりも、へき地の町村で勤務する医師は引退し、町長の給与の二倍の収入で都市よりも待遇がよいのにへき地の町村勤務を望むのは金の問題ではないといふことだ。

一、医師のすくなくへき地の病院であればあるほど自分の時間がなく過重な勤務に追われていること、通常の勤務でも診療以外に患者一人々々にたいする制度上の書類事務がふえていて医師でなければ処理できないうえに時間外の夜間当直勤務は足寄の場合は三日に一度本別は一日おき、陸別は毎日となり、急病者が

医師対策をどうするか

このままでは町村の公立病院へくる医師はなくなるのではないかと心配されていますが、そのためには一、住民の側が教養を身につけて、医師を時間外まで酷使することはやめよう、急病といつても日中から徴候があるものなので、早目に病院の勤務時間中に診察をうけておけばよいのに、症状が昂じてから夜中に往診を求めるとは住民の権利とばかりにふるまう習慣はお互いにくける。

二、毎日の夜間当直はもろい、一日おきでも三日に一度でもこれは人権無視といふべきで、しかも人間の生命にかかわる勤務の責任を負わせるのは酷であり、各町に二軒ずつの開業医の協力を求め、当直当番に参加してもらえばそれだけ勤務が緩和されるし、国道が舗装化されて交通が便利になつたことに、一歩すすめて三町の公立病院、開業医を一体にしての夜間休日勤務の当番制にすれば、お互いに月二、三回の当番ですむことになる、医師の絶対量が不足だといふのに、車で三、四

さようなら陸別高校

陸別高等学校(三宅太郎校長)の閉校式は三日正午すぎから福祉センターに町内外の来賓、関係者など二百余名があつてひらき、岡部教育次長の開会のことば、平林教育委員長の式辞、杉田町長のあいさつがあつた。

閉校式は、徳光教育長から閉校事業協賛会の早坂会長、国安副会長に感謝状と記念品をおくり、早坂会長から歴代校長、永年勤続、最終勤務の教職員、土屋同窓会長らに感謝状と記念品をおくり、来賓代表として十勝教育局長代理、柏葉高校長、竹内校長のあいさつ、三宅校長のあいさつがあつて式をとりあげた。早坂協賛会長のあいさつがあつてお別れパーティーに入りました。

○二十一年間にわたつて三百六十一名の卒業生をお

久保呉服店

新柄婚礼衣裳
きものと帯は
足寄町 二二四八

祝辞のない式典

○この最高学府としての存在を評価しましたが、第一回卒業生には岡田農協組合長、岡田商店主、宮古町議と堀籠消防署長などの顔ぶれがあつて、目下第一線で活躍していること。

○早坂協賛会長は「私は陸別に協賛したわけではない、なんとなか将来高校を復活させたい」と意気込んでいること、かつて道銀が閉鎖、撤退したかわりに信金を誘致し、道東バスが路線上のあとを町営バスで住民の足を守つたように、希望は捨てられないように、当時高校開設の先頭に立つた荒川元議長は閉校記念誌のなかで「閉校の原因と理由はなにか、青少年を引き留める意欲は認められない町の理事者、議員諸公はなんと答えられる」との苦言を委員会では児童会館なり青少年会館として活用。

川魚の料理教室

十勝淡水魚養殖漁業組合(加藤満組合長)では教育委員会との共催で二月二十八日にグリーンパークを会場にしてニジマスやヤマメなど川魚の料理教室をひらきました。これには町内の主婦など百五十名が参加して、十勝川親水温泉のゴック長らから家庭向き料理の手ほどきを受けました。

新年度予算町議会

陸別は十一日から、本別と足寄は十二日からひらきます。

庭石は道東随一の当会社へご用命下さい
造園 土木 造林 造材 請負
有限会社 **大浦建設** 足寄町芽登T11 大浦 晃

家具建材アルミサッシ
既製家具から注文家具
住宅産業に奉仕する
有限会社 **桜井家具建具店**
足寄町北五区 T二二六二 工場西五区

一五〇号高速オイルパンサー
新鋭機
R.M. アクリル 調色機 導入
札幌陸運局認証 整備 板金 塗装
ムトウ自動車工業
ホンコッ車買入れます 足寄町 T二五七八

不動産についての御相談は
調査 売買 あつせん 管理 分譲
代行 登記 損害保険 代理まで
岡和、奥和火災保険代理店
北海道免許126
足寄不動産事務所
足寄町本通り三丁目 T二三四五
女子事務員数名求めます

お墓を新造、改造する方など
お気軽にご相談下さい(無料)
ただし毎日18時から20時まで(日曜は随時)
吉相墓研究会
主幹 高本修司
足寄町中央五区 高本とうふ店 T二五〇五

家具と建材
信用は最大のサービス
技術と納期を誇る
家具 建具 製造販売
住宅内装に新建材を
佐藤家具建材店
足寄駅前 電話二二二二番